

「新エネルギー・省エネルギー施設整備事業補助金」
H26定期報告書及びH27現地ヒアリング調査の集計結果について

H27.6.18
環境政策課
商工振興課

【定期報告書の提出及び現地ヒアリング調査の実施について】

(1)目的

新エネルギー・省エネルギー施設整備事業の補助金交付条件において「設置後7年間（耐用年数が7年以下のものはその年数）は、当該施設において利用すること。また、上記の期間中、設置した施設に応じて、発電量・節電量等の実績を報告すること。」と規定されており、毎年発電量等の報告を求めている。

補助制度創設の「補助を活用して導入された太陽光発電設備や省エネ設備の効果により、補助事業者が体力を整え、本業である事業の振興が図られることで、最終的には雇用の拡大に繋げてもらう。」という目的に沿う状況となっているか、平成26年度分の定期報告書を元に、現地ヒアリングを実施することで、補助事業の検証を行う。

(2)実施期間

①H26定期報告書 平成27年5月13日から5月29日まで

②現地ヒアリング 平成27年6月3日から6月8日まで

(3)対象事業所

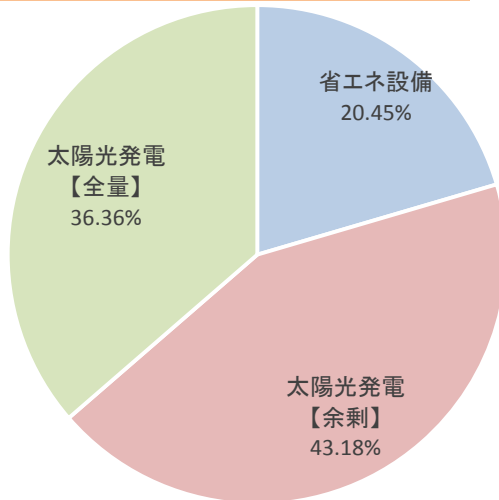
①H26定期報告書 平成24・25年度設置事業者 全44社
(回答率 100%)

②現地ヒアリング 省エネルギー設備 2件 (H24:1件、H25:1件)
太陽光【余剰売電】 4件 (H24:1件、H25:3件)
太陽光【全量売電】 4件 (H24:4件、H25:0件)

(4)対象期間

平成26年度ベース(H26.4月分～H27.3月分)

【導入設備の内訳】

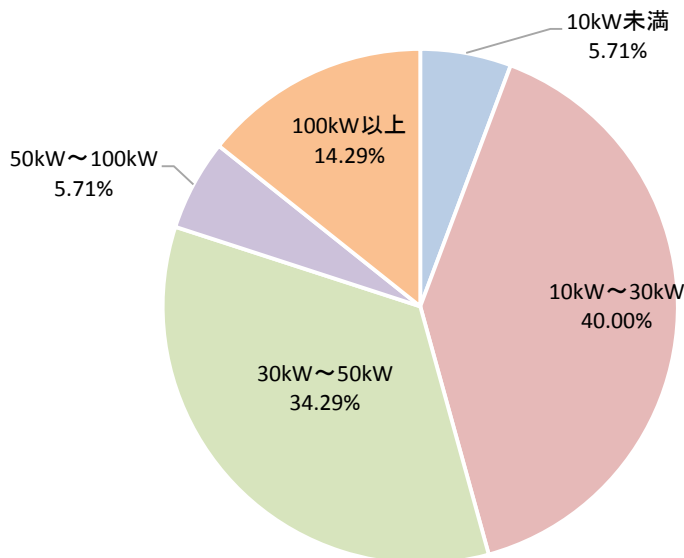


平成24・25年度計:44件

【内訳】

省エネ設備 9件
 太陽光発電(余剰) 19件
 太陽光発電(全量) 16件

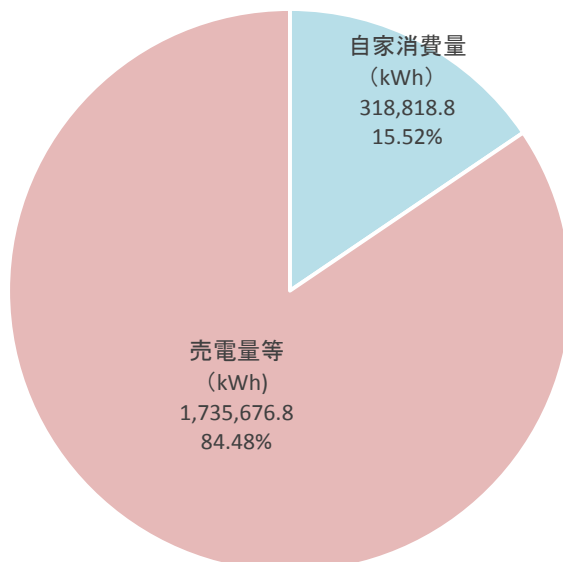
【太陽光発電設備設置出力(kW)】



太陽光発電設備の設置出力は、10～50kWが全体の74%となっており、ミドルレンジが大半を占めた。
 一方で10kW未満が2件、50kW以上が7件と設置条件などの状況に合わせた出力とする事業所もあった。

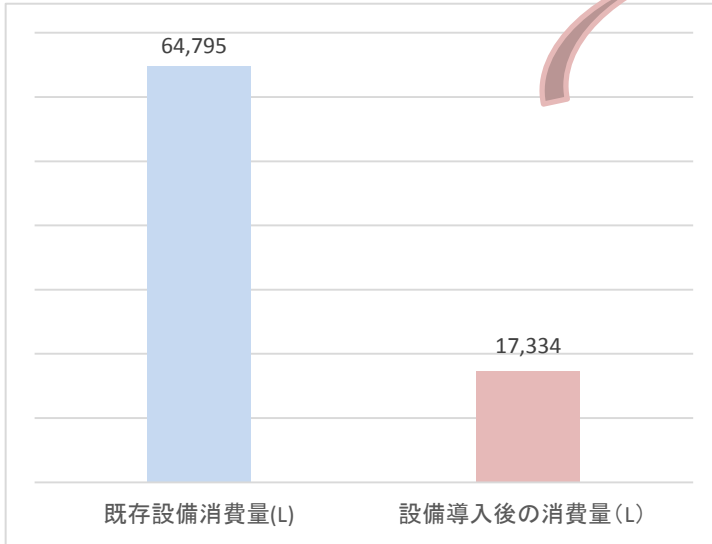
年 度	設置出力(kW)
平成24年度6月補正	310.92
平成24年度9月補正	728.70
平成25年度当初予算	506.77
合 計	1,546.39

【太陽光発電自家消費の割合】



自家消費量(kWh)は、発電総量から売電や変換ロスなどを差し引いたものとしている。
 全量売電設備としての設置や余剰売電設備でも休日の場合などは常に売電している状況などから全体の15%程が自家消費分となっている。

【灯油等削減量(L)】

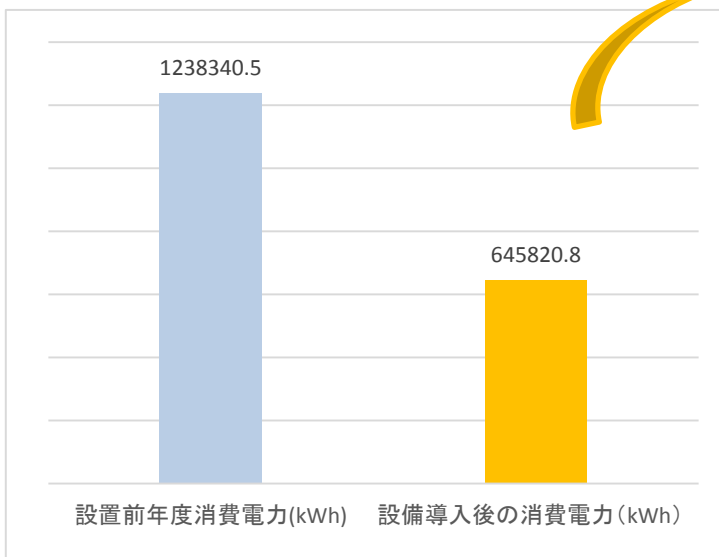


削減割合
73.25%

2社について灯油空調設備から省エネ型の電気空調設備に変更したことにより、大きな削減割合となった。
また既存の空調機が灯油及び電気の両方を燃料としていたことから、電気使用量についても効率化により削減となった事業所もあり。

なお、他の1社については、冬季のみに使用するため11月から3月までの実績となった。

【電力削減量(kWh)】



削減割合
47.85%

電力の削減効果はあるものの、工場等もともと消費電力が大きい事業者からは、そこまで大きな削減になっていないという声もあった。

※設置前年度消費電力は省エネルギー設備値に太陽光発電自家消費値を加算したものの。

※設置前年度消費電力は事業所毎の平成23年度または平成24年度数値を合計したものの。

【現地ヒアリング調査の状況】

(1)目的

補助制度創設の「補助を活用して導入された太陽光発電設備や省エネ設備の効果により、補助事業者が体力を整え、本業である事業の振興が図られることで、最終的には雇用の拡大に繋がってもらう。」という目的に沿う効果が出ているか、設置後の現地ヒアリングを実施することで、補助事業の検証を行う。

(2)H27ヒアリング対象

- ① 省エネ設備 2件(H24年度対象事業者:1件、H25年度対象事業者:1件)
- ② 余剰売電設備 4件(H24年度対象事業者:1件、H25年度対象事業者:3件)
- ③ 全量売電設備 4件(H24年度対象事業者:4件、H25年度対象事業者:0件)

(3)H27ヒアリングを通しての考察

太陽光発電設備や省エネ設備の導入による今後の展望として、従業員に対する福利厚生の更なる充実や、雇用の拡大、新たな設備の導入を検討していきたい等積極的な意見が多々見られた。

その一方で、当面は設備の初期投資回収に充てるため、なかなか新たな雇用や設備投資に繋げるのは難しいという意見もあった。

さらに、この度の設備導入により、企業のイメージアップやPRにも繋がったということで、本社や他の工場等にも今後設備投資できればという事業者もあった。

●省エネ設備の状況

H25年度 A社 H27.6.5(金) 現地調査	<ol style="list-style-type: none">① 現況の確認 :工場内での稼働を確認。補助制度を活用し、2台の省エネ型コンプレッサーを導入。② 設置後の効果 :補助金を利用する前から省エネ設備は導入しており、特に意識の変化はないが、消費電力量は見込みどおり削減されている。③ 今後の考え方 :国の補助金を利用して、新たな設備の導入を行う予定。④ 課題等 :省エネ設備は導入まで時間がかかるため、補助金を検討するときはその点を加味してほしい。
---------------------------------------	--

<p>H24年度 B社</p> <p>H27.6.8(月) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場内での稼働を確認。冷房設備・暖房設備を2台ずつ設置。</p> <p>② 設置後の効果 :灯油の削減を見込んでの設備導入だったが、思った以上に電気量も削減された。</p> <p>③ 今後の考え方 :初期投資(事業費から補助金を除いた額)の回収はほぼ済んでおり、新たに別の工場に省エネエアコンを導入した。</p> <p>④ 課題等 :省エネ設備の効果はあるが、会社の利益に直結とまではいえず、思い切った雇用拡大とまではしていない。</p>
--	---

●太陽光発電設備【余剰売電】の状況

<p>H25年度 C社</p> <p>H27.6.3(水) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場の屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :電気代が従来よりかも約半分になった。</p> <p>③ 今後の考え方 :借入金の返済に充てているため、雇用や設備投資は難しい。</p> <p>④ 課題等 :クリーニング等維持管理は自ら行うため、大変である。</p>
<p>H24年度 D社</p> <p>H27.6.4(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場の敷地内にて稼働を確認。追従型太陽光発電システム。</p> <p>② 設置後の効果 :工場の消費電力が大きく、売電収入は少ない。 追従型太陽光発電システムは珍しいため、見学者もいる。(PRにつながる)</p> <p>③ 今後の考え方 :売電収入は会社の収入の一部となっているが、新たな設備投資や雇用につなげるのは現段階だと難しい。</p> <p>④ 課題等 :パワコンの電圧抑制により、発電量が思ったより少ない。</p>

<p>H25年度 E社</p> <p>H27.6.5(金) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 ：工場屋上での稼働を確認。現在は受注の減少もあり自家消費量は少ない。</p> <p>② 設置後の効果 ：発電は順調であり、安定した売電収入となっている。</p> <p>③ 今後の考え方 ：5年で初期投資の回収を見込んでいるが、今後の考え方については未定。</p> <p>④ 課題等 ：パネルの保証はあるが、維持管理は委託もしくは自社で行わなければならない。</p>
<p>H25年度 F社</p> <p>H27.6.8(月) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 ：工場屋上での稼働を確認。事務所や新築の倉庫にも設置。</p> <p>② 設置後の効果 ：太陽光発電設備を販売する会社として、自社に設置することで、お客様に対して説得力のある売り込みができる。</p> <p>③ 今後の考え方 ：自家消費を主とする太陽光発電設備を設置し、取り組んでいきたい。</p> <p>④ 課題等 ：自家消費発電をやるうとする方の背中を押すような補助制度の実施。</p>

●太陽光発電設備【全量売電】の状況

<p>H24年度 G社</p> <p>H27.6.3(水) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 ：工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 ：見込みより実際の発電量の方が多く、満足している。</p> <p>③ 今後の考え方 ：雇用や低炭素パッカー車の購入につなげていきたい。</p> <p>④ 課題等 ：本社にも設置できればよいが、現状の固定価格買取制度に対する不安がある。</p>
--	--

<p>H24年度 H社</p> <p>H27.6.3(水) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 ：事務所屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 ：順調に発電をしており、会社の収入の一部となっている。</p> <p>③ 今後の考え方 ：現在は設備投資の回収に充てており、今後の計画については未定である。</p> <p>④ 課題等 ：雪が降ったときの除雪が大変である。</p>
<p>H24年度 I社</p> <p>H27.6.4(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 ：工場の屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 ：売電金額より消費電力の方が大きいですが、見込みより多く発電している。</p> <p>③ 今後の考え方 ：初期投資回収に6年ほどかかるが、その後は従業員の福利厚生に充てていきたい。</p> <p>④ 課題等 ：今のところ課題はなく、お客様の目を引くこともあり、企業のイメージアップにつながっている。</p>
<p>H24年度 J社</p> <p>H27.6.4(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 ：工場屋上での稼働を確認。本社にも設置済み。</p> <p>② 設置後の効果 ：従業員のエコに対する意識の向上につながっている。</p> <p>③ 今後の考え方 ：初期投資回収に6、7年ほどかかるが、将来的には雇用につなげていきたい。</p> <p>④ 課題等 ：工場の消費電力が大きい。</p>

以上